

【凡例】
 A:事業拡大 B:事業維持 C:事業縮小
 D:事業完了 E:事業の中止・廃止 F:未着手

資料 1

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値(策定時)	計画中の目標値	令和3(2021)年度事業内容【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの理由	令和4(2022)年度事業内容(見込)
------	-----	------	-----	----------	---------	-------------------------	------	---------------	---------------------

基本目標1. 地域住民等が共に助け合い、支え合う環境(関係)づくり ～地域住民の福祉意識の高揚～

施策1 地域福祉に対する意識の醸成
 【具体的な取組】地域住民の交流機会の充実

1	地域福祉に関する学習機会の提供	イベント等を通じてボランティア活動等を啓発し、福祉への意識の向上を図ります。	福祉課	1回	向上	総合福祉フェスタの中で福祉活動や、ボランティア活動について啓発活動をしていましたが、開催自体の検討を行い、事業内容や参加者に変化がなく啓発の効果が薄いと判断したため令和3年度に事業の廃止を決定しました。	E	長年同様の内容で、参加者も同じ顔ぶれが多く啓発の効果がみられない為事業廃止となった	福祉団体や市の所管課が各々で啓発活動を行います。
---	-----------------	--	-----	----	----	---	---	---	--------------------------

施策2 地域住民等の交流・支え合い活動の推進
 【具体的な取組】市民団体などによる自主的な課題解決への支援

2	がんばる地域応援補助金の活用	まちづくりに取り組む新規の公益活動を支援します。	協働推進課	7団体	向上	みよし市ががんばる地域応援補助金をH30, R1, R2に採択した9団体に交付。がんばる地域応援補助事業審査会において行政区の同意を必要としない1事業及び同意を必要とする1事業の採択を決定しました。	B		みよし市ががんばる地域応援補助金をR1, R2, R3に採択した8団体に交付。がんばる地域応援補助事業審査会を実施。
3	地域文化活動等推進事業補助金の活用	文化活動、生涯学習を推進する団体を支援します。	生涯学習推進課	20団体	向上	生涯学習活動を積極的に推進する団体又は新たに生涯学習活動を始める団体に、その活動を支援するために補助金を交付しました。 ・R3.10.24(日)新屋行政区 新屋区民文化展 ・R3.10.24(日)筋生行政区 地域文化活動事業(文化展) ・R3.10.30(土)～31(日)三好丘行政区 三好丘行政区秋の文化祭 ・R3.10.31(日)三好丘あおば行政区 あおば区文化作品展 ・R3.11.12(金)～15(月)福田行政区 福田行政区文化展 ・R3.11.21(日)三好丘桜行政区 桜文化展 ・R3.12.12(日)三好丘行政区 三好丘フェスタ(文化祭) ・R3.12.12(日)三好丘緑行政区 三好丘緑行政区クリスマスフェスタ 以上8団体に補助金を交付しました。	B	事業は維持しているが、新型コロナウイルス感染防止のため、活動を自粛する団体があったので、実施団体の実績は減りました。	以下の9団体の生涯学習活動を支援するために補助金を交付します。 ・R4.10.23(日)筋生行政区 筋生文化展 ・R4.10.29(土)～30(日)三好丘行政区 三好丘行政区秋の文化祭 ・R4.10.30(日)ひばりヶ丘行政区 ひばりヶ丘行政区秋の文化祭 ・R4.10.30(日)三好丘行政区 三好丘フェスタ(文化祭) ・R4.10.30(日)三好丘あおば行政区 あおば区文化作品展 ・R4.11.11(金)～14(月)福田行政区 福田行政区文化展 ・R4.11.13(日)明知上行政区 明知上行政区秋の文化祭 ・R4.11.20(日)三好丘桜行政区 桜文化展 ・R4.12.3(土)三好丘緑行政区 三好丘緑行政区文化祭

A:事業拡大 B:事業維持 C:事業縮小
D:事業完了 E:事業の中止・廃止 F:未着手

資料 1

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値(策定時)	計画中の目標値	令和3(2021)年度事業内容【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの理由	令和4(2022)年度事業内容(見込)
------	-----	------	-----	----------	---------	-------------------------	------	---------------	---------------------

施策3 地域ぐるみの防災・防犯活動の推進
【具体的な取組】災害時の対応連携強化

4	福祉避難所の指定か所数	市内の福祉事業所等を福祉避難所に指定します。	防災安全課	4か所	向上	令和3年度は新規指定はありませんでした。 【福祉避難所】三好特別支援学校、三好老人保健施設、あゆみ会(しおみの丘・さくらの丘・おひさまハウス一号館)、あさみどりの風(生活介護わらび・共同生活援助わらび6か所)	B		R5.2.9 NP0法人いきもの語りと、福祉避難所として指定する協定書を結んだ。
5	避難行動要支援者の個別計画作成率	災害時に配慮が必要な人の個別計画作成を促進します。	福祉課	22%	向上	自主防災会(行政区)に避難行動要支援者名簿を提供し個別支援計画の策定を依頼しました。12の自主防災会が個別支援計画を策定しています。	B		自主防災会(行政区)に避難行動要支援者名簿を提供し、個別支援計画の策定を依頼しました。
6	【新規】防災訓練の実施	市と福祉施設、福祉団体などで防災訓練を共同実施します。	防災安全課	—	実施	—	F	訓練の実施概要を検討しています。	市と福祉施設、福祉団体との共同防災訓練の実施について検討をします。

施策4 ボランティア・NPO・企業・社会福祉法人の活動促進
【具体的な取組】ボランティア活動の促進

7	市民活動センター登録団体数	市民活動を行う団体の増加に向けて取り組みます。	協働推進課	52団体	向上	専門の相談員を配置し、市民活動団体の活性化や団体設立に関する相談を協働推進課窓口及び市民活動センター(臨時)において、40件実施しました。また、がんばる地域応援補助金により、市民活動団体のスタートアップの支援、更なる新規の公益活動に対する支援を行っています。令和3年度末時点市民活動サポートセンター登録団体数は49団体です。	B	事業は維持しているが、コロナ禍で活動を自粛する団体があり登録団体の実績は減少しています。	協働推進課窓口及び市民活動センター(臨時)において、協働相談を実施します。また、がんばる地域応援補助金により市民活動団体のスタートアップの支援、更なる新規の公益活動に対する支援を行います。
8	ボランティアセンター登録者数	ボランティア登録者の増加に向けて取り組みます。	社会福祉協議会	88団体 3,265人	向上	ボランティア登録者の増加に向け、ボランティア講座を行いました。 ・ボランティア登録者 97団体 2,822人 ・コーディネーター件数 96件 ・ボランティア講座 2回開催	B		・ボランティア登録者 102団体 2,832人(R4.12.31) ・コーディネーター件数110件(R4.12.31) ・ボランティア講座 2回開催予定
9	ボランティア通信の発行回数	ボランティア通信を発行し、活動を啓発します。	社会福祉協議会	4回	向上	活動啓発のためにボランティア通信を年4回発行しました。	B		ボランティア通信4回発行

A:事業拡大 B:事業維持 C:事業縮小
D:事業完了 E:事業の中止・廃止 F:未着手

資料 1

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値(策定時)	計画中の目標値	令和3(2021)年度事業内容【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの理由	令和4(2022)年度事業内容(見込)
------	-----	------	-----	----------	---------	-------------------------	------	---------------	---------------------

基本方針2. 誰もが必要な福祉サービスを利用できる体制づくり ～地域福祉ネットワークの強化～

施策1 各分野における相談支援体制の整備

【具体的な取組】各分野の相談支援窓口の充実

10	子育て世代包括支援センターの設置	妊娠から子育て期まで、切れ目のない支援を行います。	子育て支援課	1か所	向上	保健センターに子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠から安心して産み育てる、切れ目のない子育て支援環境の整備をしています。具体的には、健診、家庭訪問、相談支援、健康教育として教室の開催及び予防接種などの支援を妊娠から幼児期まで行い、学齢期に繋げました。	B		健診、家庭訪問、相談支援、健康教育として教室の開催及び予防接種などの支援を妊娠から幼児期まで行います。
11	子育て総合支援センター総合相談窓口の設置	子育て総合支援センターや子育てふれあい広場での相談体制を充実します。	子育て支援課	6か所	向上	・子育て支援センターと子育てふれあい広場は6か所です。 ・地域子育て支援センターに電話や面接による子育て相談窓口を設置しました。 ・年間350件子どもの生活習慣や発育・発達等の相談が寄せられました。 【相談件数内訳】 ・なかよし地区(総合支援センター内):89件 ・きたよし地区(萌生保育園内):8件 ・みなよし地区(打越保育園内):14件 ・三好丘地区(みどり保育園内):80件 ・黒笹地区(黒笹保育園内):65件 ・カリヨン(ふれあい広場):94件 ・発育・発達に関する相談内容には深刻な内容については、必要に応じて専門機関に繋ぎました。	B		各支援センターと子育てふれあい広場で相談窓口を設置し、必要に応じて助言を行います。
12	障がい者相談支援専門員の配置	障がい者の相談支援業務を法人に委託し、相談支援専門員を配置します。	福祉課	6人	向上	障がい者相談支援事業を市内6法人に委託し、6人の相談支援専門員が相談支援にあたりました。R3年度相談件数は、4,397件です。	B		障がい者相談支援事業を市内6法人に委託し、7人の相談支援専門員が相談支援にあたっています。
13	地域包括支援センターの設置	日常生活圏域ごとに地域包括支援センターを設置します。	長寿介護課	3か所	向上	・令和4年度から4つの日常生活圏域ごとに地域包括支援センターを設置するため、プロポーザルを行い、社会福祉法人昭徳会を選定しました。また、カリヨンハウスを事務所とするための改修工事を実施しました。	B		令和4年4月1日にカリヨンハウス1階におかよし地域包括支援センターが開所しました。

A:事業拡大 B:事業維持 C:事業縮小
D:事業完了 E:事業の中止・廃止 F:未着手

資料 1

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値(策定時)	計画中の目標値	令和3(2021)年度事業内容【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの理由	令和4(2022)年度事業内容(見込)
------	-----	------	-----	----------	---------	-------------------------	------	---------------	---------------------

施策2 地域における福祉ネットワークの形成
【具体的な取組】各分野のネットワークの強化

14	保健対策推進協議会の設置、開催	市民の健康保持増進に関する地域課題の解消に向け、関係者で話し合います。	健康推進課	2回	継続	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、関係者へ情報提供を行う、開催は中止としました。	C	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い情報提供のみとしました。	新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、開催します
15	障がい者自立支援協議会の設置、開催	障がい者の地域課題の解消に向け、関係者で話し合います。	福祉課	3回	継続	全体会を3回開催しました。児童部会3回/年、就労支援部会2回/年、精神保健福祉部会3回/年、医療的ケアさぼーと部会2回/年開催し、障がい者(児)の地域課題の解消に向け、関係機関で集まり、協議を行いました。	B		全体会3回、児童部会3回、就労支援部会2回、精神保健福祉部会3回、医療的ケアさぼーと部会2回開催。障がい者(児)の地域課題の解消に向け、関係機関で集まり、協議を行います。
16	地域ケア会議の設置、開催	高齢者の地域課題の解消に向け、関係者で話し合います。	長寿介護課	4回	継続	地域包括ケア推進会議を4回開催しました。また、認知症施策推進と在宅医療・介護連携推進のための2つの作業部会を月1回開催し、認知症施策では、認知症カフェの充実や認知症ケアパスの充実に向けた議論を行いました。在宅医療・介護連携では、市内の医療機関を訪問し関係構築を進めたり、豊田厚生病院の退院支援員と地域包括支援センターとで交流会を開催し、連携強化に向けた関係強化を行いました。	B		地域包括ケア推進会議を4回開催。2つの作業部会は月1回開催。認知症施策では、キャラバンメイトの支援充実や認知症の人の声の発信に向けた取組について協議し、在宅医療介護連携は、医療機関訪問や精神科病院との交流会の企画を行います。

施策3 誰もが働きやすい就業環境の整備
【具体的な取組】各分野の就労支援体制の充実

17	子育て家庭の就労支援件数	母子・父子自立支援員が相談に対応します。	子育て支援課	12件	向上	・母子・父子自立支援員によるひとり親家庭の自立に向けての相談を行いました。(就労の相談は13件) ・さらに、就労するにあたり、生活状況の中で阻害要因を把握して、具体的な就労に向けての面談を実施し、プログラムを策定した者が、その後、一定条件の就労をしたときには自立支援就労促進給付金を支給しました。	B		・ひとり親家庭の自立に向けて相談を行います。 ・相談事例に応じた助言や関係機関の紹介、給付金の支給を行い、相談者の悩みや不安の軽減させることを努めます。
18	障がい者の就労支援件数	障がい者や企業からの相談に対応します。	福祉課	554件	向上	一般社団法人はたらく協議会に、就労支援事業を委託し障がい者の就労を支援しています。また、企業側に障がい者就労について理解していただくための啓発活動を行いました。相談延件数737件。	B		一般社団法人はたらく協議会に、就労支援事業を委託し、障がい者の就労を支援しています。
19	高齢者の就業者数、就労支援件数	高齢者の就業の場の確保に努め、支援体制を充実します。	長寿介護課	370人	向上	・令和4年度から始まる、高齢者就労的活動支援の窓口になるためのコーディネーターについて、配置の準備をしました。 ・公益社団法人みよし市シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓など、高齢者の生きがい事業に対し、補助金を交付し、支援しました。(年間 会員数 394人、事業件数 1,957件、就業延人員 48,481人)	B		・就労的活動支援コーディネーターを配置し、高齢者の就労的活動の実態を把握し、見える化を図る取組を行い、それを関係機関で共有します。 ・公益社団法人みよし市シルバー人材センターへ補助金交付など支援。

A:事業拡大 B:事業維持 C:事業縮小
D:事業完了 E:事業の中止・廃止 F:未着手

資料 1

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値(策定時)	計画中の目標値	令和3(2021)年度事業内容【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの理由	令和4(2022)年度事業内容(見込)
------	-----	------	-----	----------	---------	-------------------------	------	---------------	---------------------

施策4 生活困窮者への支援
【具体的な取組】生活困窮者への支援体制整備

20	生活困窮者への相談・就労支援件数	くらし・はたらく相談センターで、生活困窮者の相談を受け付けます。	福祉課	〈相談〉 675件	向上	〈相談〉 生活困窮者への相談支援事業を実施しました。令和3年度相談実績1,471件。	B	〈相談〉	生活困窮者への相談支援、就労支援を社会福祉協議会に委託し実施します。
				〈就労支援〉 18件	向上	〈就労支援〉 生活困窮者への就労相談支援事業を実施しました。令和3年度相談実績204件。	B	〈就労支援〉	
21	【新規】 子どもの学習・生活支援の整備	子どもの学習・生活支援体制を整備します。	福祉課	—	整備	生活困窮世帯やひとり親世帯などの子どもを対象に、学習意欲向上、学習習慣の定着、基礎学力の向上のための学習支援や学習の場所・機会を提供しました。令和3年度末の登録者数16人。	B		生活困窮世帯やひとり親世帯などの子どもを対象に、学習意欲向上、学習習慣の定着、基礎学力の向上のための学習支援や学習の場所・機会を提供します。

施策5 ひきこもりに対する支援
【具体的な取組】ひきこもり状態にある人や家族の支援体制整備

22	【新規】 ひきこもり支援体制の整備	ひきこもり状態にある人やその家族の相談窓口や居場所を整備します。	福祉課	—	整備	ひきこもり状態にある人やその家族の相談窓口・居場所として障害者等サポートセンターを改修し、シエルブルーの開所準備を行いました。	B		令和4(2022)年4月シエルブルーを開所し、ひきこもりの相談窓口と居場所を整備しました。
----	----------------------	----------------------------------	-----	---	----	---	---	--	---

基本目標3. 地域福祉の活動に積極的に関わる担い手づくり ～多様な主体の参加促進～
施策1 福祉教育の推進
【具体的な取組】小中学校での福祉教育

23	福祉実践教室の実施回数	学校で福祉実践教室を実施します。	社会福祉協議会	6回	向上	学校、児童クラブで児童・生徒を対象に福祉実践教室を実施しました。 ・小学校1回、中学校4回、児童クラブ1回	B		・福祉実践教室を小学校2回、中学校3回、児童クラブ4回で実施。
24	学校での福祉に関する講座や体験の回数	学校で福祉の講座や体験等を実施します。	長寿介護課	12回	向上	小学校は8校、中学校は3校で認知症サポーター養成講座(11回)を実施しました。小学生は681人、中学生は137人が受講しました。	B	小中学校12校中、依頼された11校で開催した。	認知症サポーター養成講座を小学校8校、中学校4校で実施。小学校8校582人、中学校3校107人を養成。(R5.1末時点)

A:事業拡大 B:事業維持 C:事業縮小
D:事業完了 E:事業の中止・廃止 F:未着手

資料 1

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値(策定時)	計画中の目標値	令和3(2021)年度事業内容【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの理由	令和4(2022)年度事業内容(見込)
------	-----	------	-----	----------	---------	-------------------------	------	---------------	---------------------

施策2 地域福祉を担う人材の確保・育成
【具体的な取組】地域福祉を担う人材の育成

25	ヘルスパートナー養成教室修了者数	ヘルスパートナー養成教室を開催します。	健康推進課	延56人	向上	ヘルスパートナー養成教室は隔年開催としており、令和3年度は開催していません。	B		新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み養成教室を開催します。
26	ゲートキーパー養成教室受講者数	自殺対策としてゲートキーパー養成教室を開催します。	健康推進課	延37人	向上	3月17日(木)にゲートキーパー養成教室(こころの健康講演会)を開催し18人参加。コロナ禍における心の健康をテーマにし、コロナ禍における動向等を踏まえ自殺対策に関する知識習得を行うことができました。	B		新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み養成教室を開催します。
27	認知症サポーター養成講座開催数	認知症サポーター養成講座を開催します。	長寿介護課	延1,745回	向上	認知症サポーター養成講座を19回開催し、927人が受講しました。開始場所としては、小中学校、金融機関、市役所等で実施しました。	B		認知症サポーター養成講座を、20回開催し1,500人受講する。20回1,506人を養成(R5.1末時点)
28	民生委員・児童委員に対する研修回数	民生児童委員協議会の研修の企画、開催を支援します。	福祉課	5回	向上	新型コロナウイルス感染症感染防止のため、研修会は開催しませんでした。	E	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、みんなで集まることを中止しました。	・精神障がい者等の居場所として新設された施設の見学会を開く。 ・地域包括支援センターと情報交換会を行い顔の見える関係づくりに努める。

施策3 専門人材の確保・育成
【具体的な取組】専門人材の確保・育成に向けた支援

29	介護職員雇用PR支援補助の実施	介護事業所等の職員募集のための広告費等を補助します。	長寿介護課	4件	向上	介護事業所等の職員募集のための広告費等を3件補助しました。	B	事業所に補助金の啓発はしましたが、申請は伸び悩みました。	介護事業所等の職員募集のための広告費等を補助します。7件補助(R5.1時点)
30	援助技術等、従業者の資質向上のための研修回数	各福祉分野の専門人材を対象とした研修会を開催します。	福祉課	(障がい)8回	向上	〈障がい〉自立支援協議会の人材育成検討チームを置いて、年6回研修を開催しました。	C	〈障がい〉新型コロナウイルス感染防止のため、対面方式の研修を控えました。	自立支援協議会の人材育成検討チームで研修開催します。
			長寿介護課	(高齢)5回	向上	〈高齢〉公益財団法人愛知県市町村振興協会の家庭介護者等養成研修を活用し、介護支援専門員向けの研修を2回(6/13, 10/11)、現任介護職員研修を4回(8/1, 10/17, 11/1, 12/2)開催しました。	B	〈高齢〉	高齢者分野の専門人材研修会を6回開催

施策4 福祉事業所の体制強化
【具体的な取組】

31	障がい福祉サービス運営費補助金の交付	市内の障がい福祉サービス事業所に対し、運営費補助金を交付します。	福祉課	6法人	向上	生活介護、就労移行支援及び就労継続支援を行っている5法人6事業所に、運営費補助金を交付しました。	B		生活介護、就労移行支援及び就労継続支援を行っている事業所に運営費補助金を交付します。
32	【新規】地域リハビリテーション活動支援事業の実施	地域の介護予防の機能強化のため、リハビリテーション専門職が助言等を行います。	長寿介護課	—	実施	1件派遣しました。地域包括支援センターがケアプランを担当する人のサービス担当者会議に理学療法士を派遣し、自宅で行える介護予防に関する助言を行いました。	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響で専門職が派遣できない時期がありました。	新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、専門職側の都合により派遣ができない現状

A:事業拡大 B:事業維持 C:事業縮小
D:事業完了 E:事業の中止・廃止 F:未着手

資料 1

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値(策定時)	計画中の目標値	令和3(2021)年度事業内容【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの理由	令和4(2022)年度事業内容(見込)
------	-----	------	-----	----------	---------	-------------------------	------	---------------	---------------------

施策5 生涯学習の推進
【具体的な取組】

33	生涯学習講座の開催、受講者数	福祉に関する生涯学習講座(親子・小学生対象、障がい者対象、高齢者対象など)を企画、開催します。	生涯学習推進課	55講座 515人	向上	年間で143講座を企画・運営し、1305人が受講しました。その内福祉に関する生涯学習講座(親子・小学生対象、障がい者対象、高齢者対象など)は17講座開催し、166人が受講しました。	B		福祉に関する生涯学習講座(親子・小学生対象、障がい者対象、高齢者対象など)を企画、開催します。
----	----------------	---	---------	--------------	----	--	---	--	---

基本目標4. 地域福祉の推進に向けた仕組みづくり ～地域共生社会の基盤整備～
施策1 包括的な相談支援体制の整備
【具体的な取組】包括的な相談窓口の設置

34	福祉総合相談センター全体の相談件数	高齢者及び障がい者(児)の生活、児童の発達等に関する相談に対応します。	福祉課	921件	向上	高齢者及び障がい者(児)の相談に対応し、必要に応じて地域包括支援センターや相談支援専門員等と連携し、対応しました。	B		高齢者及び障がい者(児)の相談に対応し必要に応じて地域包括支援センターや相談支援専門員等と連携しています。
35	くらしはたらく相談センター全体の相談件数	生活に困っている人のくらしや働くことに関する相談を受け付けます。	福祉課	3,557件	向上	障がい児者の相談、生活困窮の相談など、生活に困っている人のくらしや働く事に関する相談事業を実施しました。令和3年度相談実績3,930件。	B		障がい者(児)の相談、生活困窮の相談など、生活に困っている人のくらしや働く事に関する相談事業を実施しています。
36	【新規】地域における包括的な相談窓口の設置	日常生活圏域ごとに、地域生活課題を包括的に受け止める相談窓口を整備します。	福祉課	—	整備	—	F	整備に向けて検討中です。	令和6年度に重層的支援体制事業を始めていくにあたり市内の福祉機関の職員を集めて勉強会を開催しています。包括的な相談窓口についても今後検討していきます。
37	【新規】コミュニティ・ソーシャルワーカーの配置	コミュニティ・ソーシャルワーカーの配置を検討します。	福祉課	—	整備	—	F	整備に向けて検討中です。	令和6年度に重層的支援体制事業を始めていくにあたり市内の福祉機関の職員を集めて勉強会を開催しています。コミュニティ・ソーシャルワーカーについても今後検討していきます。

A:事業拡大 B:事業維持 C:事業縮小
D:事業完了 E:事業の中止・廃止 F:未着手

資料 1

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値(策定時)	計画中の目標値	令和3(2021)年度事業内容【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの理由	令和4(2022)年度事業内容(見込)
------	-----	------	-----	----------	---------	-------------------------	------	---------------	---------------------

施策2 多機関協働の促進
【具体的な取組】多職種連携の場の設置

38	医療的ケアが必要な方の事例検討回数	障がい者自立支援協議会で多職種による事例検討を行います。	福祉課	2回	向上	障がい者自立支援協議会の医療的ケアさぼーと部会で年3回会合を開き、その中で事例検討会を行いました。	B		障がい者自立支援協議会の医療的ケアさぼーと部会で、事例検討会を行います。
39	認知症初期集中支援チームでの支援人数	対象者の認知機能の評価や生活継続に関する課題を整理し、多職種で支援します。	長寿介護課	7人	向上	認知症初期集中支援チームで、3人支援しました。	B		認知症初期集中支援チームで、12人支援します。

施策3 地域における活動場所の提供
【具体的な取組】活動場所の明確化

40	市民活動の活性化や団体設立の相談件数	市民活動センター等で相談を受け付け、対応します。	協働推進課	11件	向上	専門の相談員を配置し、市民活動団体の活性化や団体設立に関する相談を協働推進課窓口及び市民活動センター(臨時)において、40件実施しました。	B		協働推進課窓口及び市民活動センター(臨時)において、協働相談を実施します。
41	市民活動や福祉活動を行うことのできる場所	市内において市民活動、福祉活動のできる場所を整備、充実します。	福祉課	2か所	向上	—	F	市民活動、福祉活動のできる場所の充実について検討中です。	市民活動、福祉活動のできる場所の充実に向けて検討します。
42	【新規】(仮称)活動場所マップの作成	地域住民や福祉団体が使用できる活動場所マップの作成を検討します。	福祉課	—	作成	—	F	作成に向けて検討中です。	マップ作成に向けて検討します。

A:事業拡大 B:事業維持 C:事業縮小
D:事業完了 E:事業の中止・廃止 F:未着手

資料 1

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値(策定時)	計画中の目標値	令和3(2021)年度事業内容【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの理由	令和4(2022)年度事業内容(見込)
------	-----	------	-----	----------	---------	-------------------------	------	---------------	---------------------

施策4 成年後見支援・日常生活自立支援の充実（成年後見制度利用促進計画）
【具体的な取組】成年後見支援を通じた地域づくり

43	成年後見支援センターの設置、相談対応	成年後見支援に関する相談窓口を設置し、相談に対応します。	福祉課	設置済み	継続	みよし市成年後見支援センターで、成年後見の相談対応を行いました。	B		みよし市成年後見支援センターをふれあい交流館内に移転し、相談支援を行います。
44	成年後見制度の周知・啓発	成年後見制度に関する学習会等を開催します。	福祉課	—	4回	令和4(2022)年2月支援者向けに学習会を開催しました。(1回)	B		介護のケアマネジャーや障がい相談専門員等を対象に学習会を開催します。
45	成年後見支援ネットワーク会議の開催	成年後見支援に関する地域課題の協議の場を設けます。	福祉課	3回	継続	成年後見支援ネットワーク会議を年3回開催し、みよし市の成年後見支援について話し合いました。	B		成年後見支援ネットワーク会議を3回開催し、みよし市の成年後見支援について話し合います。
46	成年後見支援が必要な人の事例検討会数	多職種による事例検討を行い、関係職員の資質向上を図ります。	福祉課	—	6回	みよし市成年後見支援センター報告会を月1回開催し事例検討を行いました。	B		成年後見支援センター報告会で事例検討を行っています。

施策5 再犯防止に向けた取組(再犯防止計画)
【具体的な取組】実態把握と普及啓発

47	関係機関・団体との情報交換回数	再犯防止に関係する機関の会議等に参加し、連携を強化します。	福祉課	2回	継続	名古屋刑務所の会議等に年6回参加しました。	B		名古屋刑務所の会議等に参加します。
48	更生保護団体への支援	保護司や更生保護女性会の活動をバックアップします。	福祉課	実施	継続	保護司会(保護司)、更生保護女性会の活動・運営の支援を実施しました。	B		保護司会(保護司)、更生保護女性会の活動・運営の支援を実施しています。
49	犯罪をした者等の相談対応及び支援	犯罪をした者等の特性に応じ、保健医療、福祉サービス等の利用を促進します。	福祉課	実施	継続	犯罪をした者等の特性に応じ、保健医療、福祉サービス等の利用を促進しますが、該当する対象者はありませんでした。	B		犯罪をした者等の特性に応じ、保健医療、福祉サービス等の利用を促進します。
50	広報・啓発活動の推進	社会を明るくする運動等、再犯防止に関する取組を継続して実施します。	福祉課	実施	継続	社会を明るくする運動などにより、再犯防止に関する啓発活動を実施しました。	B		社会を明るくする運動などにより、再犯防止に関する啓発活動を実施します。